

事業成果報告書

1 補助事業者の概要

フリガナ	
企業名	
所在地 ^{※1}	〒
代表者氏名	
担当者	部署： 役職： 氏名：
電話番号	
Eメール	
主たる産業	
企業	申請書の内容を転記してください。
過去3年間の 国内又は国外 補助事業の有無	交付決定日： ※有の場合、事業計画書を添付すること。
今回申請する事業 で他の補助事業と 重複申請している 事業の有無	☐ 無 ☐ 応募（申請中【採択見込み予定時期 年 月】） 補助事業名等： テーマ： ※有の場合、事業計画書を添付すること。
「パートナーシップ構築宣言」 の有無	☐ 有 ☐ 無 ※申請時点において、ポータルサイト ^{※3} に企業名の掲載があることが条件です。
「SECURITY ACTION 一つ星」 宣言の有無	☐ 有 ☐ 無 ※申請時点において、セキュリティ対策自己宣言サイト ^{※4} に企業名の掲載があることが条件です。

※1 県外本社の場合、県内事業所の住所を記載してください。

※2 日本標準産業分類（平成25年（2013年）10月改定）の中分類コード、項目を記載してください。

（参考：日本標準産業分類：https://www.soumu.go.jp/toukei-toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01_03000044.html）

※3 ポータルサイト URL：<https://www.biz-partnership.jp>

※4 セキュリティ対策自己宣言サイト URL：<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>

2 ITベンダー又は認定経営革新等支援機関の概要

フリガナ	
支援機関名	

(5) デジタル技術・研修活用による経営課題解決の実施内容（400 文字以内）

※デジタル技術・研修活用によって解決する経営課題が複数ある場合は、課題ごとに分けて記載し、活用するデジタル技術・研修の内容を含めて整理してください。

・(4)の現状や課題を改善するため、本事業において、どのような取組を行ったか、具体的に記載してください。(図や 表, 画像等の活用も可能です。具体的にわかりやすく記載してください。)

・導入した IT ツールや機械装置等の概要について記載するとともに、経営課題に対して、どのような取組を行ったかを具体的に記載してください。また、導入した IT ツールや機械装置等を実際に活用している写真を挿入してください。(申請書の転記とらないようにしてください。)

※実績報告書の作成段階で、まだ本補助事業が完了していない場合は、完了した前提で内容をご記入ください。(記入例)〇〇を導入した。～できた。

(6) デジタル技術・研修活用による経営課題解決の期待効果（200 文字以内）

※今回の補助事業を実施することにより、期待できる効果を定量的な指標で記載してください。(定性的な評価を記載する場合は、定量的な効果を記載した上での補足事項として記載してください。)

本補助事業で行った取組についての効果を具体的(できるだけ数値も含めて)に記載してください。

※取組が終了したばかりで具体的な効果が出ていない場合は、見込んでいる効果の内容を記載してください。

※実績報告書の作成段階で、まだ本補助事業が完了していない場合は、完了した前提で内容をご記入ください。(記入例)～が短縮された。～につながった。

(7) 事業推進体制（必要に応じて行を追加すること）

役割	所属・役職	氏名	職務内容
推進責任者			
推進担当者			

(8) 事業推進スケジュール

・計画から事業完了までのスケジュールを具体的に記載してください。

・実績報告書の実施期間と合致させてください。

・証憑書類等との整合性を図ってください。

(記入例)

〇月〇日 IT ツール発注

〇月〇日 納品・試運転

〇月〇日 支払い

〇月〇日 事業完了

(9) 事業終了後のD X推進計画

申請時の取組を転記してください。

(10) 事業成果に係る自己評価

※本事業により導入したデジタル技術等について、良かった点、悪かった点とその理由について記載してください。

本事業により導入したデジタル技術等による成果において、良かった点・悪かった点とその理由を記入ください。

(記入例)

良かった点

- ・作業時間の短縮によって、空いた人員を別の業務に回すことができた。
- ・省力化につながることを実感し、更なるシステムの導入の検討を開始した。

悪かった点

- ・ITの知識を持った人材が少なく、導入したものの取組が想定より進んでいない。等